

疲れ・学力低下・認知症・免疫力低下・不眠・肥満・癌等を予防するLED照明を開発



不眠・学力低下・慢性疲労・認知症・免疫力低下・肥満・癌の急増など、日本は一体なぜ「病気大国」になってしまったのだろうか?

体内時計を整え、心身の健康を守る照明を開発

現代の日本は、利便性や快適性にすぐれた技術大国。しかし一方で、かつてない病気大国ともなっている。人は職場や学校で多くのストレスにさらされ、不眠や慢性疲労、うつなど心身の不調に悩む人は多い。また、睡眠不足により集中力・注意力が散漫になり、学力の低下につながっているともいわれる。こうした心身の不調に、広く普及しているLED照明が関わっていることが、専門家たちの研究によってわかってきた、と『株式会社グリーンユーティリティー』の代表森幸一さんは語る。

森さんは、これらの現状を打破すべく、熱い思いで研究を続けてきた。思いを同じくする国立大学の工学博士や医

学博士の協力のもと、従来の一般的なLED照明の欠点を解消する新たな照明を開発したのだ。その名も、陽光LED照明『明王(みょうおう)』である。森さんが着目したのは、太陽光。そもそも太陽光には、体内時計を調整する働きがあり、幸せホルモンとも呼ばれるセロトニンの分泌を促す。セロ



太陽光は、健康と命を守る理想の光だ。私たち人の脳は、一日を通しての太陽光の色合いや明るさの変化を感じ取って体内時計を整え、心身の健康を維持している。

	朝	昼	夕
太陽光			
一般白色LED照明			

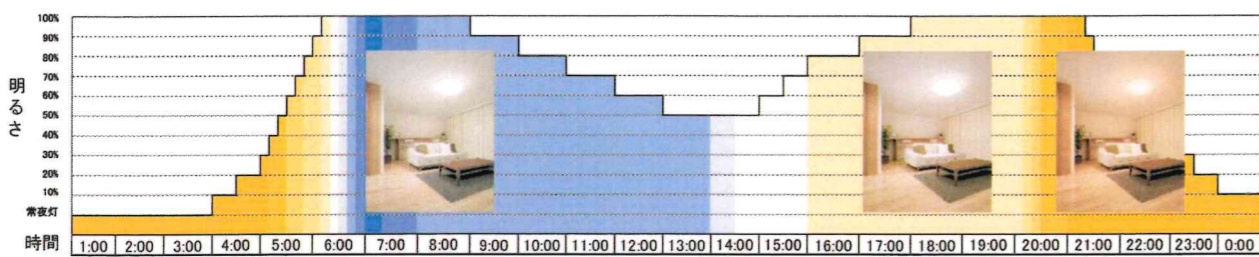
太陽光は光の質が一日を通して変化し続けている。一方、一般的な白色LED照明は、光の質が常に同じで、しかも「強烈なブルーライト」を放ち続け、色の再現性も低いため、体内時計を乱して心身に様々な深刻な弊害を引き起こす要因になっているという研究結果もある。

トニンは睡眠ホルモン・メラトニンを生成させ、睡眠・覚醒の体内リズムが整う仕組みだ。さらに太陽光には免疫力を向上させる働きもあるなど様々な不調の抑制につながる効果がある。陽光LED照明『明王』は、太陽光と同等の「健康な光」を再現しているのが特長。一般的なLED照明の下では、「まぶしい」「目が痛い」「疲れ」といった経験はないだろうか。何故なら一般的なLED

安全な光で健康を守る

陽光LED照明 明王Myo-Ou
家庭用シーリングライト GTTHLDC-062101

〈産学連携事業〉
心身の健康を守る独自技術のLED照明



陽光LED照明「明王Myo-Ou」家庭用シーリングライト(6畳用、税込94,600円)は、光の質(分光特性・色温度・照度)が太陽光の一日の変化に同調して自動で快適な状態に変化するため体内時計も整い、大切な家族の心身の健康を守ることができる。

照明は、青色LED単体で白色光を放つためブルーライトが突出しており、色の再現性が低く、太陽光の質と大きな違いが出ているためだ。同製品は、ブルーライトが突出しておらず、光の質(分光特性)が太陽光と同等なため、太陽光の下で見える色を忠実に再現することができる。

なLED照明を陽光LED照明『明王』に交換するだけで、これらの問題の二挙解決が期待できるのだ。心身の不調の解消や健康増進に同製品を取り入れてみてはいかがだろうか。

(ライター/ナガノリョウ)

元来、人の健康は、周囲の環境情報を脳が処理し、体を最適に制御して維持されている。人が周囲から取り込む情報の9割は目からの視情報といわれており、太陽光の下で見える色を再現できるということは、健康にもよい影響があるといえる。実際、太陽と同等の光には、睡眠の質の向上や集中力や作業効率の向上、疲労の減少などの効果があることが複数の大学での実験研究で確認されている。一般的

株式会社 グリーンユーティリティー

☎ 052-979-8900
✉ mori@greenutility.co.jp
📍 愛知県名古屋市中区代官町33-13
https://greenutility.co.jp/